

2020年12月27日 主日礼拝

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌480番「輝く日を仰ぐとき」
(感謝しつつ主の門に) (栄光から栄光へと)

十 戒

聖 書 ① 詩篇107章1～9節 (P845)
②③ ローマ人への手紙12章9～15節 (P249)

音 楽 サインダンス&スペシャルバンド(V)

メッセージ ① 「主にあがなわれた者は言う」 森屋幹副牧師
②③ 「共に喜び、共に泣く教会」 小林詩音副牧師

賛 美 「今日まで守られ」(聖歌292番) 献金
頌 栄 「主にハレルヤ！」アーメン
祝 禱 大川従道主任牧師

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って
召された者たちと共に働いて、万事を益となるように
して下さることを、わたしたちは知っている。」
(ローマ八の二十八)

【大和ニュース】

☆本年最後の「主日礼拝」です。心からの感謝をもって、主なる神様を
賛美し礼拝いたしましょう。

☆今年の受洗者は、コロナ禍の中でも19人の方々が与えられました。

(支教会では18人)。大川牧師就任後、2850人の受洗者でした。P・T・L！！

* 今年も一年守られたことを感謝し、「年末感謝献金」を捧げましょう。袋は受付。

* 今週の祈禱会は、水曜夜7時半から一回のみ。『年末感謝祈禱会』説教は坪井師。

☆初詣礼拝は、2回に変更。元旦①9時、②11時。説教は大川牧師、音楽は後藤兄。

コロナ対策で予約が必要です(30日12時半～)。マスクをお忘れなく。入口で検温と消毒。

☆3日の新年礼拝は、7時、9時、11時。ゲストは、ポーマン先生ご夫妻。

石の枕

一年最後の「コラム」は、やっぱりこれですねー！

ニューヨークのブルックリン教会を担当していたエバンズ牧師は、24ヶ月の間結腸ガンと闘い、この世を去った。彼が残した闘病中の4つの信条は、私たちが苦病の中にいる時、どのような姿勢で心を治めなければならないかを教えてくれる。

1. 私は決して不平を言わない。
2. 私は家の雰囲気明るく保つ。
3. 私が受けた祝福を数えて感謝する。
4. 私は病いを有意義なことに変える。

いずれにせよ、私たちの人生には、平地だけが用意されているのではない。上り坂と下り坂が続く(まさか、というもある)、でこぼこ道を旅するのだ。

病いの苦痛を抱いて下り坂を駆け下りる時、神様と共に感謝してその道を楽しむことができるなら、神様は、上り坂の喜びも味わわせてくださるだろう。(『一生感謝・365日』ジョン・クワン著より—すばらしい本です。)

私は一日千回以上「感謝します」を唱えている。おざなりの時もあるが、「良き習慣は第二の天性なり」であって、神様、み子イエス様、聖霊さまに「感謝します！」を捧げないと眠らないことにしている。

今年一年は、最低の苦しい時もあったが、最高の喜びの日もあった。どちらにしろ、「インマヌエル・アーメン!!」である。いつも、どこでも、主なる神様のご一緒である。このお方様に、すべての主権を任せて生きていられることは、最高の喜びであります。

「私はついている！」神様のご一緒だから、どんなマイナスも必ずプラスになります！を本気で、心から宣言しています。つらいことは沢山ありますが、そのように生きられることは、神の恵みです。

さあ、今年最後の日曜日です。ご一緒に、「ハレルヤ！主よ、感謝します！！」

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: 黙示録18章～マタイ2章 Bコース: ゼカリヤ4章～創世記5章